



東京都が抱える高齢者問題 地元紙として役立つ情報を発信！

「人生100年時代を生きる」特集始動！ #1 健康長寿を目指して 始めようフレイル予防

「2025年問題」をご存知ですか？団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、医療や介護等のサービスが追い付かなくなる事態が懸念されています。

折しも東京新聞の読者構成は46.5%を占める60代が最大層となっており、これは全国4紙と比較して最も多い割合を占めています。つまり後期高齢者を目前とした、60代の読者の割合が、最も多い媒体が東京新聞なのです。

人生100年時代を生きる
健康長寿を目指して 始めようフレイル予防

今更には遅いとも思われかねないが、東京新聞では「人生100年時代」を前にするためのさまざまな企画を組む準備をスタートします。第1回は、東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢さんに、「健康」の中間段階を意味する「フレイル」についてお話ししました。新型コロナウイルスの影響による日常生活の中で、健康状態を見つめ直す機会が増えたのではないのでしょうか。皆さんも、できることから始めませんか。

飯島勝矢さん
東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢さん
「フレイル」は「虚弱」を意味する言葉で、健康と病気の中間段階を指します。健康状態を見つめ直す機会が増えたのではないのでしょうか。皆さんも、できることから始めませんか。

「人生100年時代を生きる」企画をスタートします。

「人生100年時代を生きる」企画をスタートします。

「人生100年時代を生きる」企画をスタートします。

そこで東京新聞では「人生100年時代」をテーマとした特集「人生100年時代を生きる」を始動します。第一回では「フレイル (=虚弱) 予防」をテーマに心身の健康について、東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授を取材いたしました。昨今の新型コロナウイルスによる外出自粛要請が続いているため、高齢者の筋力低下ならびに心の不調が、より一層危ぶまれており、今だからこそ「フレイル予防」の必要性を訴えました。

東京都の後期高齢者は、全国の都道府県と比べ、今後も増え、且つ単身世帯 (独り暮らし) も増加していく見込みです。都が抱えるこの高齢者問題を、地元紙であり一般紙における都内部数第3位の東京新聞の役目として、高齢者に役立つ情報を今後も積極的に発信してまいります。
(東京本社広告一部 太田 貴也)

100年mouth
100年health

口は、生きるの1丁目。

SUNSTAR

人生が100年になってゆく。人生を100%楽しめませんか？ 100年暮る。100年しゃべり、笑う。毎日のオーラルケアで、それが目標せたら？ あたりまえの日々の習慣が、全身の力になると知ったとき、人のカタチはずっと変わる。人ははじかに活動できる。あしたのhealthは今日のmouthから。サンスターにできることは星の数。

紙面協賛頂いたサンスター様は「100年mouth 100年health」を掲げ、人生100年時代、人々の健康寿命の延伸に寄与する製品・情報・サービスの提供を事業の核として展開しています。その活動の1つに「サンスター オーラルフレイルケアプロジェクト」があり、東京新聞の活動に共感され協賛が決定しました。

▲2020年5月29日東京新聞朝刊 15段

読者層	15-19才	20-29才	30-39才	40-49才	50-59才	60-69才	70-74才
個人全体	9.9	14.3	17.6	21.5	16.1	17.4	7.4
東京新聞朝刊	6.5	6.2	12	12.8	46.5		15.8
朝日新聞朝刊	6.3	10.3	23	19.7	25.7		11.9
毎日新聞朝刊	6.6	8	17.2	16.4	35.4		14.3
読売新聞朝刊	3.5	14	21	18.7	26.4		11.2
産経新聞朝刊	9	14.3	13.3	25	18.4	17	9.2

15-19才 20-29才 30-39才 40-49才 50-59才 60-69才 70-74才

【広告を見た読者の声】

- ・良い企画だと思う。様々な企業の「人生100年時代を生きる」企画を見てみたい。(男性40代)
- ・コンセプトが的確かつ大切で、また一緒に考えるという、読者と対等な視線に好感を持ってました。(女性29歳以下)
- ・タイムリーな話題。とても参考になる内容ばかりで良い企画だと思った。老若男女の健康に参考になる内容を期待している。(女性30代)
- ・とても良い企画だと思う。100年時代を生きるためにはどうして良いか色々と教えて下さい。(女性60代)
- ・コロナ禍によりシニア世代以上のフレイル問題は一気に加速しているのではないかと心配している。他者とのコミュニケーションが取りにくい状況下では様々な面で心身に影響を及ぼしているが、紙面にあるように、まず自分の今の状態に気づくことが大切だと思った。(女性60代)